

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

デジタル脳波非線形解析によるてんかん病変部・ネットワーク描出法の開発

1. 研究の対象および研究対象期間

2018年4月～2019年12月に当院でてんかん外科治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

てんかん患者さんにおける安全で確実な外科治療の提供のため、てんかん病変部の同定やてんかんネットワークの描出に、デジタル脳波データにおいて非線形解析の一種であるサンプルエントロピー解析を用いることで、30Hz帯域以上のガンマ波規則性の定量化解析が非常に有効であることが申請者の最近の研究成果（Sato et al., Sci Rep 2017, Sato et al., Epilepsy Behav 2019）から示されつつあります。さらに本法は実用的な脳波解析アプリケーションとして現在、発展・普及しつつあります。本研究では、様々な病態を有するてんかん患者さんのデジタル脳波データを対象にして、サンプルエントロピー法を用いて背景活動脳波におけるガンマ波規則性を定量化、さらにスワイプ解析機能を実装したアプリケーションによるガンマ波規則性の動的解析を加えることで、より正確なてんかん病変部評価法としててんかんネットワーク描出法として発展させることを目的とします。患者さんの術前後の状態や脳画像データなどと照合することにより、本法の妥当性について徹底的な検証を行います。本研究は、安全で確実な低侵襲てんかん外科治療の実現のためにも急務であり、てんかん患者さんの機能予後改善に寄与できるものです。症例の収集・解析は昭和大学病院 脳神経外科学講座が担当いたします。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2022年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴

データ：デジタル脳波、発作時ビデオ、術中動画、脳画像（レントゲン、CT、MRI、SPECTなど）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部脳神経外科学講座 氏名：佐藤 洋輔
住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8605

研究責任者：

所属：昭和大学医学部脳神経外科学講座 氏名：佐藤 洋輔